

寿岳文章と 向日庵本の世界

令和5(2023)年2月23日(木・祝)～3月26日(日)

休館日 毎週月曜日、3月1日(水)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

入館無料



記念講演会



日時：3月25日(土) 午後2時～3時30分

テーマ：「ダード・ハンターとその私家版」
—寿岳文章と向日庵本について考えるために—

講師：キャスリーン・A・ベーカーさん（紙史研究家兼教育者、ザ・レガシー・プレス代表）
*英語による講演を日本語で逐次通訳します

定員：40名

ワークショップ「絵を手彩色で仕上げる」

日時：3月12日(日) ①午前11時～ ②午後2時～

内容：向日庵本ブレイク詩集の美しい手彩色にならい、和紙に墨一色で印刷した図に彩色をして作品に仕上げます。

講師：関西学院大学絵画部弦月会 有志の皆さん
佐々文章さん（特定非営利活動法人向日庵理事）

定員：①・②とも10名



記念講演会・ワークショップともに

会場：向日市文化資料館研修室(展示会場の2階)

申込み：2月23日(木・祝)から直接または電話で向日市文化資料館へ。定員になり次第締め切ります。

英文学者の寿岳文章(1900-1992)は、1933(昭和8)年6月に現在の京都府向日市・西向日住宅地に居宅“向日庵(こうじつあん)”を新築して移り住み、妻しづ(筆名、本名静子)と2人で、私家版の制作に本格的に取り組みました。そして、今日に至るまで良心的で美しい出版物として高く評価されている向日庵私版、いわゆる“向日庵本”の数々を世に送り出しました。

この展示では、和紙研究者としても知られる寿岳文章が、書物研究の実践的活動として取り組んだ“向日庵本”に焦点をあて、本づくりに関する資料とともに紹介します。

文章・しづ夫妻が、向日庵での日々の生活を大切にしながら、いかにして書物の制作と向き合い、理想の実現に向けて仕事に打ち込んだかを、当時の資料をもとに紹介することで、向日庵本の持つ魅力の新しいページを開くことになればと思います。



向日庵・寿岳邸 (2014)



向日庵の応接間にて

■ 表面写真説明

- 上左：向日庵私版のブレイク詩集 1932～38年(個人蔵)
- 上右：「絵本どんきほうて」 1936年(兵庫県多可町所蔵)
- 下左：「島根九州だより」 1934年(個人蔵)
- 下中：芹沢銈介が寿岳文章に送った小間絵原画 1934年(向日庵資料)



阪急東向日駅から徒歩8分、JR向日町駅から徒歩15分

向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1

Tel 075-931-1182 Fax 075-931-1121

<http://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/>

○ご来館の際はマスク着用・手指消毒など、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。

